

## 1 コマンドバー

VBAでは、「メニューバー」「ツールバー」「ショートカットメニュー」を総称して「コマンドバー」といいます。

VBAでコマンドバーを制御するには、「CommandBarオブジェクト」を使います。

CommandBarオブジェクトは「CommandBarsプロパティ」を使って取得できます。

## ■ CommandBars プロパティ

指定したコマンドバー (CommandBarオブジェクト) を返します。コマンドバー名を指定しないで使用すると、CommandBarsコレクション (CommandBarオブジェクトの集合体) を返します。

**構文** CommandBars(コマンドバー名)

例：《標準》ツールバーを取得する

```
CommandBars("Standard")
```

 **Point!** CommandBars プロパティに指定するコマンドバー名

コマンドバーには日本語名と英語名が付いていますが、CommandBarsプロパティに指定するコマンドバー名は英語名を使います。コマンドバーの英語名を取得するには「Nameプロパティ」を使います。なお、コマンドバーの日本語名を取得するには「NameLocalプロパティ」を使います。

※独自に作成したコマンドバーを取得する場合、作成時に付けた名前 (Nameプロパティ) を指定します。

## ●主なコマンドバー

種類	日本語名	英語名
メニューバー	ワークシートメニューバー	Worksheet Menu Bar
メニューバー	グラフメニューバー	Chart Menu Bar
ツールバー	標準	Standard
ツールバー	書式設定	Formatting
ツールバー	図形描画	Drawing
ショートカットメニュー ※セルを右クリックしたときに表示されるショートカットメニュー	セル	Cell
ショートカットメニュー ※シート見出しを右クリックしたときに表示されるショートカットメニュー	シート	Ply

## 2 コマンドバーの表示・非表示

コマンドバーの種類によって、表示・非表示を切り替えるプロパティやメソッドが異なります。

### ① ツールバーの表示・非表示を切り替える

ツールバーの表示・非表示を切り替えるには、Visibleプロパティを使います。

#### ■ Visible プロパティ

コマンドバーの表示・非表示の状態を設定・取得します。Trueを設定すると表示され、Falseを設定すると非表示になります。

構文 `CommandBarオブジェクト.Visible`

《図形描画》ツールバーの表示・非表示を切り替えるプロシーチャを作成して、動作を確認しましょう。



ブック「第8章\_ツールバーの作成」を開いて、VBEに切り替えておきましょう。

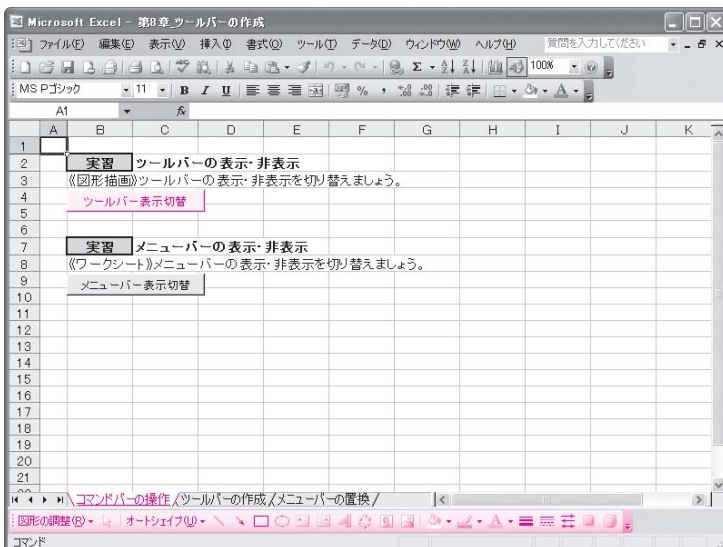
※《セキュリティ警告》ダイアログボックスが表示された場合は、《マクロを有効にする》をクリックします。

#### ■ 「ツールバー表示切替」プロシーチャ

1. Sub ツールバー表示切替 ()
2.     CommandBars("Drawing").Visible = Not CommandBars("Drawing").Visible
3. End Sub

#### ■ プロシーチャの意味

1. Sub ツールバー表示切替 ()
2.     《図形描画》ツールバーの表示と非表示を切り替える
3. End Sub



①新しい標準モジュール「Module1」を作成します。

②「ツールバー表示切替」プロシーチャを入力します。

プロシーチャの動作を確認します。

③Excelに切り替えます。

④シート「コマンドバーの操作」を選択します。

⑤「ツールバー表示切替」ボタンをクリックします。

※作成したプロシーチャを実行するように、あらかじめ登録されています。

《図形描画》ツールバーが表示されます。

※《図形描画》ツールバーが表示されていた場合は、非表示になります。

※再度、「ツールバー表示切替」ボタンをクリックして、《図形描画》ツールバーを非表示にしておきましょう。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合練習

解答

索引